

會 報

◎ 8月7日午後4時30分より於「軍人會館」坂上、中島技正、米田三氏の歡送迎會を兼ねて役員會を開き次ぎ事項に付き協議をなす。

1. 滿洲土木學會設立後の本會の方針に關する件。
2. 學術大會に於ける講演者選定に關する件。
3. 米田常任幹事後任選定に關する件。

尙當日直木參議(本會顧問)坂田會長を初めとして次の通りの出席者あり。

理事 本間氏、町田氏、武藤氏、重任氏。

幹事 佐藤氏、前田氏、林氏、浮州氏、高野氏、照井氏、瀬戸氏、廣田氏、寺師氏、羽中田氏、伊地知氏、中田氏。

◎ 8月24日午後1時30分より於「中銀クラブ」新常任幹事黒田地方工事科長を迎え、此後の「建設」編輯に關し協議をなし午後5時閉會す。尙出席者は次の通り。

黒田常任幹事、寺師、瀬戸、浮州、武富、照井各幹事。中村、濱、原各囑託。

新 入 會

7.1~7.31

佳木斯市公署 (特別會員)

鞍山市公署 同

礪谷組 同

牡丹江市公署 同

高 見 太 一

渡 邊 一 弘

新京特別市中央通

哈爾濱市工業大學土木科教室

新京特別市朝日通滿洲飛鳥組

會 員 異 動

氏 名	新 勤 務 地	舊 勤 務 地
田 島 一 郎	哈爾濱市外國二道街30號佐々木公司	安東省土木廳
小 澤 哲 夫	奉天省西安縣西安街中興南街小澤組	四平街市公署工務科
遠 藤 末 吉	間島省龍井街交通部龍井工區	間島省琿春交通部土門子工程事務所
鹿 又 興 逸	安東大東港建設局航路科	交通部遼河治水調查處
青 山 正 一 郎	東安省東安交通部土木工程處第二工事科	錦州省交通部彰武土木工程處
王 運 實	北京南地子大街41號	同
長 澤 俊 一	奉天省大虎山街交通部土木工程事務所	同
岩 崎 嘉 太 郎	北安省綏化縣驛前開拓廳建設科	錦州省北票都邑建設局
米 倉 光 治	哈爾濱市滿拓地方事務所建設科	新京特別市公署
出 川 佐 太 郎	交通部圖門土木工程處	間島省土門子土木工程事務所
井 關 敏 雄	牡丹江省公署開拓廳土木科	大同學院第一部十一期生
川 島 誠 一	間島省延吉縣明月溝松屋旅館内	牡丹江省公署土木科
照 川 井 三 郎	交通部遼安治水調查處	交通部調査科

米田正文	安東省公署土木廳	交通部遼河治水調査處
小宮山清茂	新京市滿洲空務協會	交通部營山土木工程處
環恒照	牡丹江省公署建設科	水電鏡泊湖工程處
石川伊勢雄	間島省圖們交通部土木工程處	間島省土門子交通部土木工程事務所
鈴木由五郎	東安省開拓廳土木科	興安北省開拓廳土木科
太田勤二	吉林省外水力電氣建設局壘築場	新京水力電氣建設局
小島勝治	廣島縣廳土木部河港課	安東市大東港建設局
清水忠男	旅順市乃木町旅順土木管區	關東州廳土木部
片岡幡	安東市堀刺北通り一丁目	安東市公署
中山太郎	奉天省公署土木廳	黑河省開拓廳建設科

編

輯

後

記

◎米田正文君の後を受けて常任幹事をやることになったが、長い間田舎で暮れて居た者が突然都に出て来たのだから、どうせ疎なことは出来まいと思ふが、引き受けた以上は一生懸命にやるつもりだ。

前任者同様何かにつけ御支援の程を御願ひして置く。

◎本號の内容に就ては既に在京の幹事で組織されて居る編輯會議で大體決定して居たので其まゝ踏襲したが、装幀や記事の配列には多少創意を織り込んで見た。次號からは記事の内容に就ても注意して見るつもりである。

◎本誌は滿洲土木研究會の機關誌である以上何處までも會員の總意に従つて編輯を進める必要がある譯だが、それだけに會員の一人々々が編輯員になったつもりで其動向には充分な關心を持って居て貰ひ度い。會員の心から遊離してしまつたら本誌の存在價値はない筈だ。其意味に於て會員からの注意や指圖はいつでも有難く受け入れるからどしどし言つて来て貰ひ度い。

◎本號も7月號8月號と同様随分其發行が遅れた。これには色々な事情があつて軌道に乗せるべく相當努力して見たが今更どうにもならなかつた。

此不體裁に對しては編輯員一同大いに責任を感じ。今後倍舊の努力をする所存で居るが、會員諸兄も原稿送附其他に就て一層の御協力を御願ひして置く。

◎現在の豫定では次號は10月下旬、11月號は11月中旬、12月號は12月上旬に出せるつもりで計畫を進め來年度からすべてを軌道に乗せることが出来るつもりで居る。

◎物價騰貴の影響で本誌の實費も1冊70錢以上につくやうになった。だから年額6圓の會費では赤字なのだ。これをどんな風に處置するか就ては今後大いに研究するつもりであるが、取敢えず現在累積されて居る約4,000圓近くの赤字に就ては全滿の各市公署、特殊會社、土建業者等の特別會員の篤志に待つて補填したいと思つて居る。

◎來年度からは次號で詳しく報告したいと思つて居るが、今度新しく出來た滿洲土木學會に本會を統合することになつて居るから別な構想のもとに再出發することにならうと思ふ。

◎恒例に依り來年1月22日から5日間新京に於て第6回土木講習會を開く準備をして居るが、これも多分滿洲土木學會の主權に移され内容が一層充實される筈だから今から期待して居て貰ひ度い。

◎會員の親睦融和を計ることが本誌の使命の最も重要なもの一つに數へられて居る事に鑑み其目的達成の徹底を期する爲少くとも滿洲土木關係職員は一人残らず會員である必要があらうと思ふ。従つて餘り本誌の發行部數が増加することは赤字を増大させて困ると云ふ意見もあるが、其方は何んとかならうから關係職員は全部入會せしめるやう特に地方幹事の御骨折りを期待して居る。

◎序だから地方幹事にも一つ御願ひして置く。手數と郵税を省略する爲これ迄各個人宛に送附して居た本誌を本號から地方々々に取纏めて地方幹事宛に送ることにするから責任を以て會員個々に頒布して戴き度い。(黒田)

康德7年10月25日印刷 康德7年11月1日發行〔非賣品〕

發行者	新京特別市惠民路第1代用官舎27號	黑田重治
編輯者	新京市順天區第五代用官舎一〇四號	寺師虎之助
印刷者	新京中央通四四番地	和木本久
印刷所	新京中央通四四番地	滿洲新聞社印刷所

新京特別市順天大街 交通部道路司內

發行所 滿洲土木研究會

振替口座番號新京1141番

請負業 土木建築



株式會社 大林組

奉天支店

大連出張所

新京出張所

鞍山出張所

哈爾濱出張所

牡丹江出張所

承德出張所

大連工場

奉天加茂町一六番地

大連市東公園町三五番地

新京永樂町三丁目五番地

鞍山北四條町一番地

哈爾濱新立街長官公署街九番地

牡丹江省寧安縣牡丹江圓明街

承德糧市街

大連市三春町三〇番地

電話代表長 二一四二(+)番

電話代表長 二一七一(+)番

電話長 三二六八〇番

電話長 二七八三番

電話長 五一七〇番

電話長 二二三番

電話長 一一八番

電話長 三一四一二番

本店 大阪市東區京橋三丁目七番地五

奉天工場

北京支店

天津出張所

青島出張所

奉天西區南三路二二番地

北京南池大街二九號

天津特別第三區六緯路七七號

青島市河南路二四

電話長 四〇四四番

電話長 八七三番

電話長 三二九七〇番

支店 營業所所在地

東京、橫濱、名古屋、福岡、京城、京都、神戶、金澤、靜岡、廣島、仙臺、臺北
 工作所……大阪、東京

獨逸ケルブレ會社製

ロードローラー

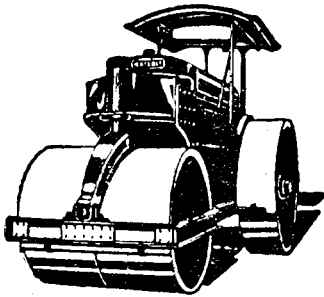
獨逸M・A・N會社製

テイゼル・トラツク

獨逸ランツ會社製

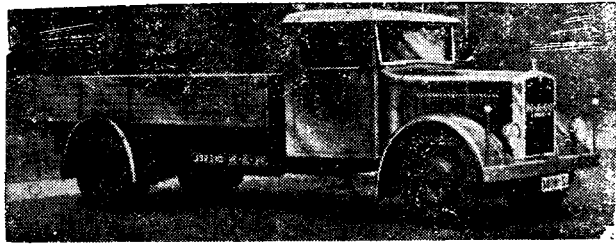
ランツ・ブルドツク・トラクター

KAELBLE
DIESEL



其ノ他獨逸一流製造

會社製諸機械取扱



滿洲總代理店

孔士洋行

(クンスト・アルバース)

哈爾濱・新 京・奉 天・大 連

牌麟麒

洋灰

大同



賣販手一

社會式株トメセ野濱

所業營京新

階壹館會德康街大同大市別特京新

(九三五—(二)圓七二五二(二)圓話電)

(六七六四·二二三四(二)圓話電) 二六町馬對市連大 · 所張出連大

(五九五三圓話電) 七三街地田裡道濱爾哈 · 所張出濱爾哈

品質
優良
均齊

小野田ポルトランドセメント
小野田早強ポルトランドセメント
小野田白色ポルトランドセメント
小野田高爐セメント

關東州小野田セメント株式會社

本店 大連市泡崖屯
工場 大連市泡崖屯
滿洲國鞍山

滿洲小野田セメント株式會社

本店 滿鐵連京線泉頭
工場 滿鐵連京線泉頭

内外一手販賣 三井物産株式會社

